



～ありがとうの心をえがおでつなく150周年～ 太宰府市立太宰府小学校創立150周年記念式典



令和5年12月9日（土）、暖かな日差しがふりそそぐよき日に、太宰府市立太宰府小学校の創立150周年記念式典を行いました。またそれに先立ち、12月6日（水）にとびうめ発表会と子ども式典を行いました。

子ども式典では、「竹の曲」という太宰府市を代表する古典芸能にふれることができました。太宰府天満宮の神幸行事の祭中に奉納する伝統芸能で、演者の皆様は太宰府小学校出身だそうです。本校5年生の安武暖真さんも演者の一人で、“ささら”という和楽器を演奏し、舞を披露しました。子ども達は、雅やかな音や美しい所作に、見入っていました。

創立150周年記念式典には、これまで太宰府小学校の歴史をつくり・今につないでくださった方々や日頃から太宰府小学校を支援していただいている方々、総勢140名余りのご来賓の皆様がご臨席くださいました。

式典では、主催者のあいさつ、ご来賓の皆様を代表し3名の方からのお祝いの言葉をいただき、学年ごとの児童の歌や合奏、ボディーパーカッションの発表と続きました。最後に、6年生児童を含む会場全体で太宰府小学校の「校歌」を歌いました。

ご来賓の皆様のお言葉からは、太宰府小学校のことをとても大事に思っていること、期待してくださっていることが伝わり、身が引き締まる思いでした。

学校の主役は子どもたち、式典では、子どもたちの成長やがんばりをたくさん見ていただく機会にしました。5・6年生の実行委員の子どもたちが発表の部分の司会や歌の紹介をし、学年ごとに合唱や合奏を披露しました。子どもたちの元気な歌声や笑顔、美しいハーモニー、皆で揃った演奏や呼びかけに、皆様見入っており、子どもたちの一生懸命な姿に涙を流してある方もいらっしゃいました。

太宰府の豊かな歴史と文化を表し、長く歌い継がれた「校歌」斉唱では会場が一体となりました。

帰り際には、ご来賓の皆様が、口々に「子ども達がすばらしかった。」「よい式典だった。」「ありがとうございました。」等と、感想の言葉を伝えてくださいました。とても温かく・感動的な式典となりました。

子ども式典を含む150周年記念式典が盛会のうちに終わることができたのは、準備委員会発足時から約1年半に渡り企画・準備をしてくださった富岡実行委員長をはじめ、18名の実行委員の皆様、21名のサポートスタッフの皆様のご尽力のおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

太宰府小学校のためにかかわり支援いただいているすべての皆様への思いに伝えていけるように、今後も児童の成長・学校の発展のため、教職員一丸となり努めて参りたいと思います。

地域・保護者の皆様、太宰府小にかかわってくださるすべての皆様、今後とも、温かいご支援・ご協力をいただきますようによりしくお願いいたします。



「竹の曲」の一場面、舞の披露



ご参会いただいたご来賓の皆様